

平成29年度進路だより就職編 第4号

種子島高校進路指導部 就職指導係 徳永丈知

1 行動する力

先日、修学旅行の引率で鹿児島空港に行く機会がありました。その際に、私が1年前に、鹿児島空港内で体験したことをふと思い出しました。

私は、飛行機に乗る機会があり、保安検査場を通り、搭乗口の方に向かって歩いていました。すると反対側から、空港警察官が歩いてきてました。なんとすれ違い様に、警察官が私に声をかけたのです。私は、これまで警察官に声をかけられたことははく、一瞬どきっとしてしまい、何か悪いことをしたかなと考えてしまいました。すると次の瞬間、「先生」と声をかけてきたのです。なおさら、頭の中が混乱してしまいました。ゆっくり警察官の顔を見て、私の顔の緊張がほぐれてきました。

そこに立っていたのは、以前勤務した学校にいた時に、鹿児島県警に採用された卒業生でした。その警察官は、空港内の警察署に勤務しており、警察内を巡回しているところだったのです。まさか仕事上の警察官に声をかけられるとは思ってもいない出来事でした。

わずかな時間でしたが、近況を聞くと結婚して子どもがいることも話してくれました。卒業して4年ぶりに再会できたことは非常にうれしいことであり、もし、その警察官が私に声をかけてくれなければ、彼との再会はなかっただろうなと思いました。

彼の高校時代のことを思い出すと、野球部に所属しており、毎日練習を頑張っていました。鹿児島市から40分かけて電車通学していましたが、部活動後に、自ら公務員専門学校に通って公務員の勉強をしていました。週末や部活動がないときには、専門学校にこもって勉強をするなど文武両道を実践した生徒で、自らの目標のために頑張る姿は印象的でした。

本校の生徒にとっては、彼と同じようなことはできない訳ですが、皆さんは、まずは学校でやるべきことや与えられた課題を確実にこなすことが重要です。そして、自己の課題を見つけ出し、課題解決のために一つ一つ取り組んでいくことしかありません。このようなことは、種子高にはできることだと私は思います。ここで皆さんに問われることは、目標に向けて本気になれるのか、あるいはやる気があるのかということなのです。

12月になり、企業の人事担当者が本校を沢山訪問されています。訪問の理由は、今年度の採用状況の報告や、来年度の採用のお願いのためにわざわざ遠方より来校されます。今年度の採用試験はまだ続いているのですが、すでに企業側は来年度の採用試験に向けて動き出しているのです。現在売り手市場であり、どの企業も優秀な人材の確保のために必死になっています。先日も、今年度まだ就職試験が決まっていない生徒がいたら、是非生徒に紹介して下さいと電話をしてくださる企業がありました。本当に有り難いことだと思っています。

そこで考えてほしいのは、皆さん自身のことなのです。企業の方々の採用の熱意とは裏腹に、学習に熱が入らない皆さん、携帯使用時間が減らない皆さん、課題をやらない皆さんがいるとしたら、この大切な時期にそのようなことをいつまでも続けていてもよいのでしょうか。なんのために勉強するのか、それは至って簡単なことです。柔軟な考え方を持ちながら、社会の変化に適応して生きていくためなのです。これからは、人工知能機能を兼ね添えた機械が導入されます。もしかすると、数十年後には人工知能を備えた警察官が作られているかもしれません。きっとそんな警察官は、私が空港で体験したように私に向かって「先生」と声をかけることはないでしょう。何かを考えて行動できるのは人間であり、皆さんです。